

さくら第518号

令和 5年2月

さくら

発行所 さくらそろばん
 発行者 平瀬重雄
 春江町境 17-7: TEL51-1337
 hirase@mx2.fctv.ne.jp

あといか
 てきぬんたよ
 なあ
 いまのことは
 いましができぬ
 かつを

『20ヶ月連続アップ達成』

4年生の金田幸太郎君がそろばんコンクールで20ヶ月連続アップの大記録を打ち立てました。塾内でそろばんコンクールを毎月2回おこない良いほうの点数を塾報「さくら」で第112号平成元年の4月号から休むことなく掲載しています。

最初は3年、4年、5年、6年の4部門でしたが平成7年5月号からは中学生部門も掲載し今日にいたっています。

金田幸太郎君にそろばんコンクールについて書いてもらいました。始める前の気持ち、4種目が終わった時の思い、そして今回、連続アップがとどえたあとの感想が下記の通りです。「計算前の気持ちは」

コンクールを始める前は、いつも苦手なみとり算をできないと思っているが、意外とできたりするときがある。今のところ、かけ算は35問を目標に、わり算は40問を目標に、みとり算15問を目標に、みとり暗算は17問を4年生までに達成することが目標です。

毎回、種目ごとに記録更新をして最後にはいい気分になっています。いつも問題をとく時には1問でも多く速くとくことを意識しています。苦手な種目が後にあるので、かなりつらいです。できれば、20ヶ月連続アップできたいなと思っています。

「計算が終って」

いつも、かけ算とわり算が良いのでそこを重点的に記録更新を目指していて、みとり算が少し悪いので時間をかけつつ直していきたいと思います。

連続アップで10何か月も続けていますが、点数を上げすぎると後の回からきつくなり、逆にゆるくなってしまうと点数が下がってしまうので、調整が難しいところです。

いつも、更新の二文字が頭を回っていて気をつけようとも思ったりします。しかし、その気持ちが強すぎて、少し思うような記録が出なかったこともありました。

そこでしょげていてもしょうがないので、また次は〇〇点アップしたいなどのことをよく考えたりしています。

「連続アップがストップして」

ぼくは連続アップをもっと続けられなかったのがとてもかゆいです。本当はもっとたくさん記録を続けたかったです。記録がとぎれてしまった理由があります。

それは、自分からのプレッシャーです。ここまで記録が続いていると自分でもパニックになってしまいます。思い通りにはいかなかったですが、今までのけいけんを活かしてまた連続アップを目指していきたいです。

◆これまでの連続アップの記録は15ヶ月でした。平成7年10月号・さくら第190号に掲載しており、岡政二郎君が達成しています。

今回の金田幸太郎君の記録について記載します。

2021年4月＝280点、5月＝305点、6月＝335点、7月＝365点、8月＝385点、9月＝400点、10月＝410点、11月＝425点、12月＝455点、2022年1月＝460点、2月＝465点、3月＝470点、4月＝485点、5月＝490点、6月＝500点、7月＝505点、8月＝510点、9月＝520点、10月＝535点、11月＝540点、12月＝550点、2023年1月＝520点で連続アップがストップ。

■福井珠算協会が全国そろばんコンクールに初参加したのは昭和56年(1981年)11月15日開催の第5回大会で、会場は福井工業大学の大会議室に800名が参加して開催されました。以後、毎年、福井商工会議所で開催しています。